

番号	93	合掌観世音菩薩像		
所在地		小城市牛津町上砥川二坂２０８５　谷地区		
災害別		昭和３７年（１９６２）　地すべり		
目的別		慰　　霊	建立年	不　　明
特記事項				



昭和37年7月8日の豪雨は、鹿島・太良地方を中心に県内各地に大きな災害をもたらしたが、ここ小城市牛津町上砥川の谷地区では裏山が崩れ、「牛津町史」(H2, 3, 31 牛津町発行)によれば、谷地区では、幅50メートル、高さ60メートル、深さ4メートルの崩壊地すべりが発生。死者2名、重傷者2名、住家の全壊3棟、半壊1棟、非住家の全壊4棟並びに耕地・林野の滅失20アールに及ぶ被害が発生した。

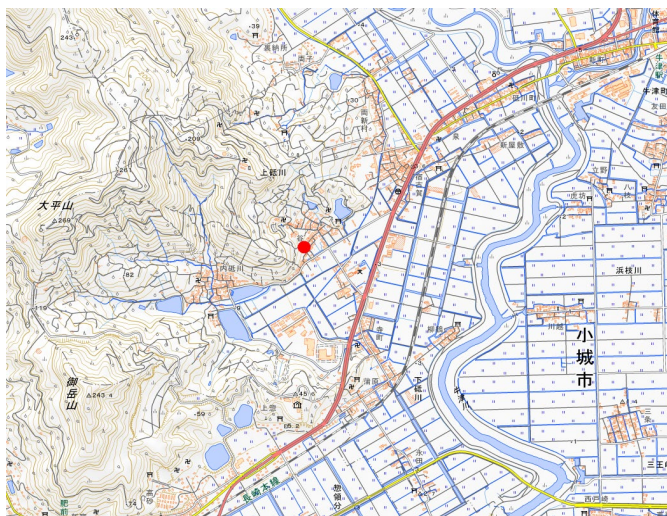
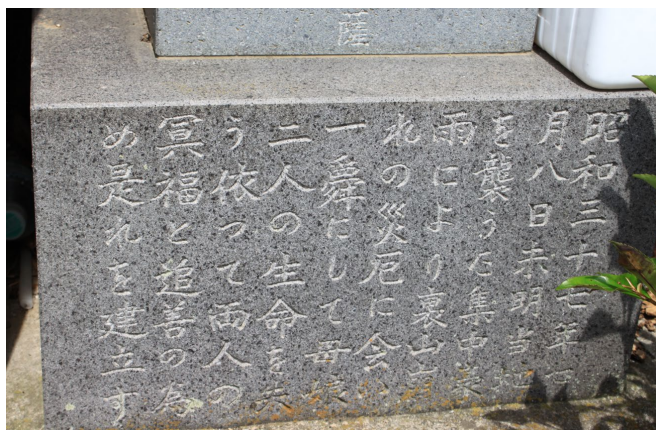
この合掌観世音菩薩像は、この地すべりにより犠牲になった2名の慰霊のために建立されたもので、その台座には次のように刻まれている。

「昭和三十七年七月八日未明当地を襲うた集中豪雨により裏山崩れの災厄に会い一瞬にして母娘二人の生命を失う依つて両人の冥福と追善の為め是れを建立す」



なお、建立時期、建立者については確認できなかった。

谷地区については、昭和37年10月11日付で地すべり危険地帯の指定を受け、その後昭和39年7月1日付で地域指定が拡大され、指定された地すべり危険地域内の41世帯のうち、7世帯が地域外に移転されたと牛津町史は記している。



国土地理院電子国土 Web